
市川町農業景況調査

2022年1-6月期

市川町商工会

目 次

I. 調査要領.....	1
1. 調査目的.....	1
2. 管内調査.....	1
II. 管内調査結果.....	2
1. 業況.....	2
2. 採算の状況.....	4
3. 資金繰りの状況.....	6
4. 人材の状況.....	7
6. 今後の経営方針.....	10
7. 新型コロナウイルスによる影響.....	11
8. 原油高・原材料高による影響（今回調査から追加）.....	12
9. その他（自由記述）.....	13

1. 調査要領

1. 調査目的

管内の農業者の景気動向について、その実態を把握すると共に、全国の情勢との違いを把握する。
※全国の情勢は、日本政策金融公庫「農業景況調査」の調査結果を参照した。

2. 管内調査

市川町商工会管轄内の農業者を対象に、アンケート調査を実施した。

- (1) 対象農業者数…5者
- (2) 調査方法…商工会の職員による訪問面接調査
- (3) 調査対象期間…2022年1月から6月末の半年間を対象とした。

※指標について

本報告書のD Iとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目において増加・上昇・好転とした事業者割合から、減少・低下・悪化とした企業割合を引いたものである。

※本報告書の変更について

今期から、「新型コロナウイルス感染症に関する事業所アンケート調査」の内容を本調査書に統合した。なお、統合にあたり、質問の整理・追加を行った。

II. 管内調査結果

1. 業況

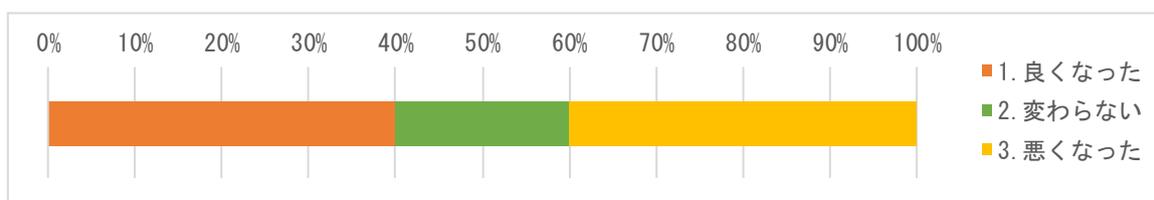
(1) 業況D I (2022年上半期)

2022年上半期の業況が「良くなった」「悪くなった」と回答したのは2者ずつ、「変わらない」と回答したのは1者ずつであり、D Iは0.0であった。

全国のD Iは▲42.9であった。市川町は、全国的な傾向よりも業況が良い。

図表1. 業況D I (2022年上半期)

農業者数				構成比			市川町	全国
1.良くなった	2.変わらない	3.悪くなった	合計	1.良くなった	2.変わらない	3.悪くなった	DI	DI
2	1	2	5	40.0	20.0	40.0	0.0	▲42.9



(2) 業況判断の背景 (自由回答)

「悪くなった」背景として、「生産・経営コストの上昇と、消費行動の変化」が挙げられている。

「良くなった」「変わらない」背景を挙げた事業者は無かった。

【参考資料】 自由記述回答

問 2-2 業況判断の背景について、貴社が感じておられることをお書きください。

生産・経営コストの上昇と、消費行動の変化

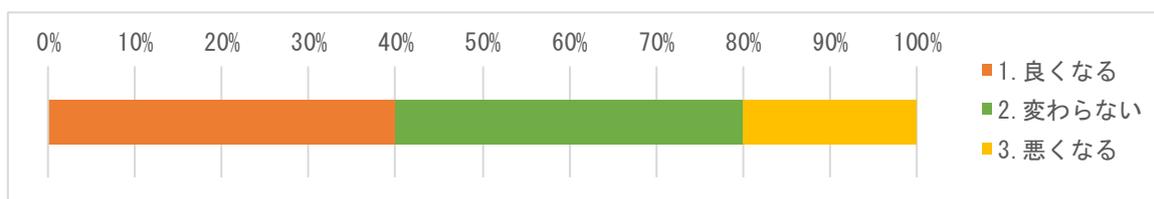
(3) 業況D I (2022 年見通し)

2022 年通年の業況見通しが「良くなる」「変わらない」と回答したのは 2 者ずつ、「悪くなる」と回答したのは 1 者であり、D I は 20.0 であった。

全国の D I は▲55.1 であった。2022 通年の業況見通しにおいても、市川町の方が、全国と比べると良い。

図表 2. 業況D I (2022 年見通し)

農業者数				構成比			市川町	全国
1.良くなる	2.変わらない	3.悪くなる	合計	1.良くなる	2.変わらない	3.悪くなる	DI	DI
2	2	1	5	40.0	40.0	20.0	20.0	▲55.1



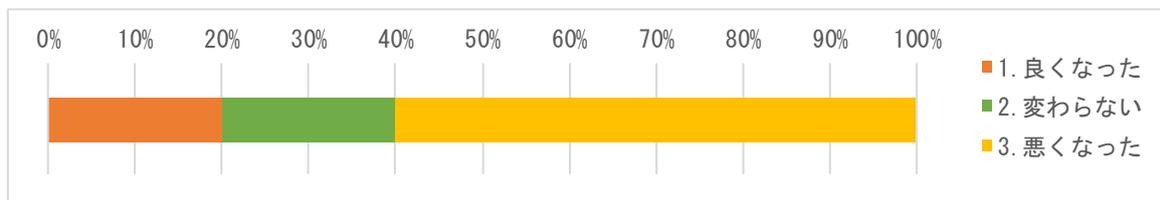
2. 採算の状況

(1) 採算D I

採算が「良くなった」と回答したのは1者、「悪くなった」と回答したのは3者であり、D Iは▲40.0であった。
 全国のD Iは、▲48.8であった。市川町の方が、全国よりも採算の状況が良い。

図表3. 採算D I

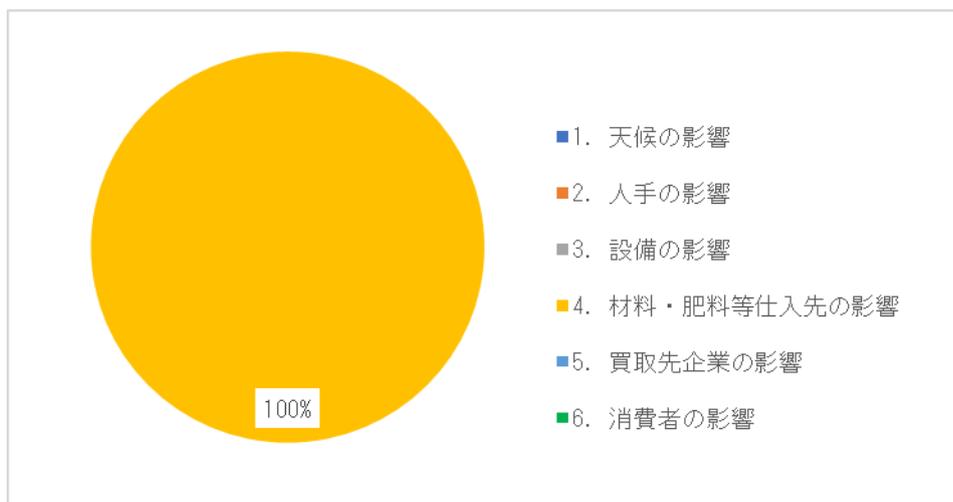
農業者数				構成比			市川町	全国
1.良くなった	2.変わらない	3.悪くなった	合計	1.良くなった	2.変わらない	3.悪くなった	DI	DI
1	1	3	5	20.0	20.0	60.0	▲40.0	▲48.8



(2) 収支が好転、または悪化した理由

採算が「悪くなった」とした3者全てで、「4.材料・肥料等仕入先の影響」とした。一方、「良くなった」とした1者も、「4.材料・肥料等仕入先の影響」を理由とした。材料等の値上げは、採算にマイナス影響を及ぼすが、一部、プラス影響を与えることがわかった。

図表4. 採算好転悪化の理由



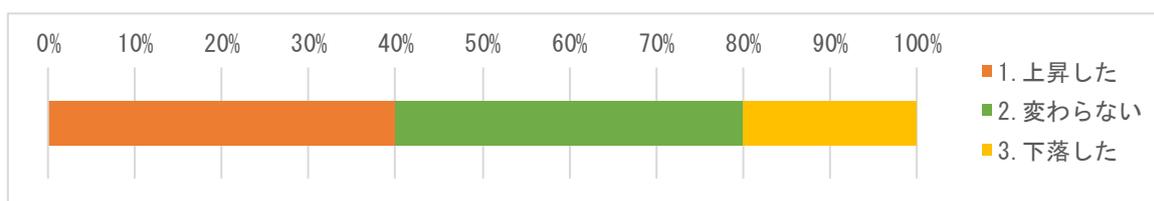
(3) 販売価格D I

販売価格が「上昇した」「変わらない」と回答した事業者が2者ずつあり、「下落した」と回答した事業者は1者あった。市川町のD Iは20.0であった。

全国のD Iは▲28.0であった。全国では販売価格が下落傾向だが、市川町では上昇傾向となった。

図表5. 販売価格D I

農業者数				構成比			市川町	全国
1.上昇した	2.変わらない	3.下落した	合計	1.上昇した	2.変わらない	3.下落した	DI	DI
2	2	1	5	40.0	40.0	20.0	20.0	▲28.0



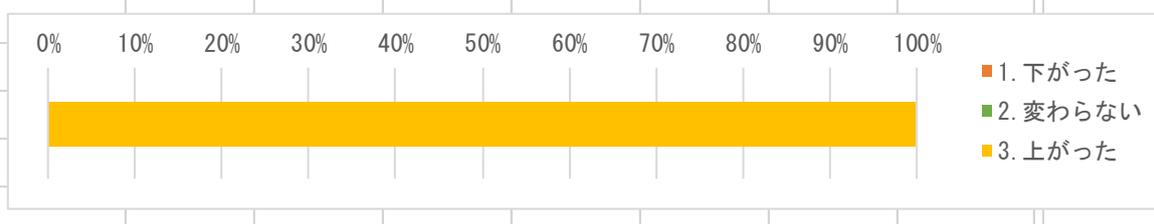
(4) 生産コストD I

生産コストは、全ての事業者が「上がった」と回答し、市川町のD Iは▲100.0であった。

全国のD Iは▲88.0であった。全国と市川町ともに、生産コストが上昇傾向にある。

図表6. 生産コストD I

農業者数				構成比			市川町	全国
1.下がった	2.変わらない	3.上がった	合計	1.下がった	2.変わらない	3.上がった	DI	DI
0	0	5	5	0.0	0.0	100.0	▲100.0	▲88.0



3. 資金繰りの状況

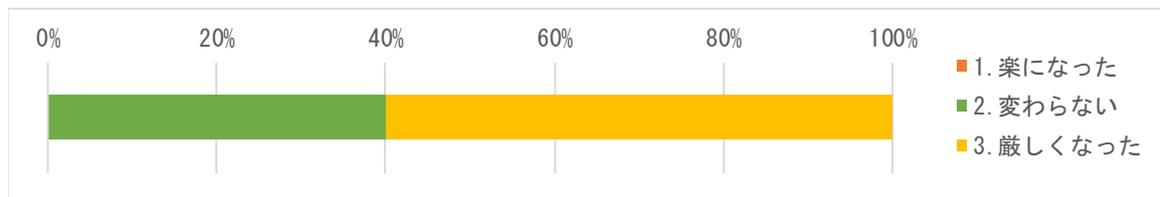
(1) 資金繰りDI

「楽になった」がゼロの一方で、「厳しくなった」との回答が3者あり、DIは▲60.0だった。

全国のDIは▲37.1であった。市川町の方が、全国よりも数値が低く、資金繰りの状況が厳しい。

図表7. 資金繰りDI

農業者数				構成比			市川町	全国
1.楽になった	2.変わらない	3.厳しくなった	合計	1.楽になった	2.変わらない	3.厳しくなった	DI	DI
0	2	3	5	0.0	40.0	60.0	▲ 60.0	▲37.1



4. 人材の状況

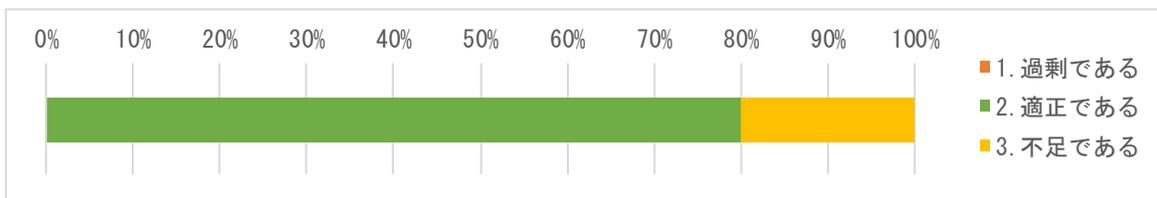
(1) 人材D I

人材が「適正である」と回答した農業者は4者で、「不足である」と回答したのは1者であった。市川町のD Iは▲20.0であった。

全国のD Iは▲35.5であった。人材不足の傾向は、市川町と全国で共通している。ただし、人材不足の程度は、市川町の方が緩やかである。

図表8. 人材D I

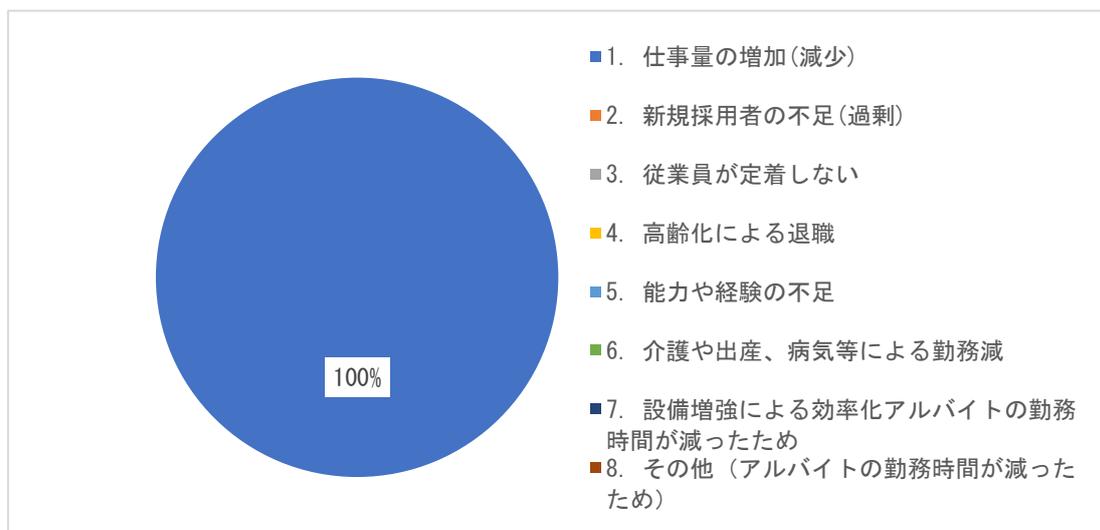
農業者数				構成比			市川町	全国
1.過剰である	2.適正である	3.不足である	合計	1.過剰である	2.適正である	3.不足である	DI	DI
0	4	1	5	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0	▲35.5



(2) 人材が過剰又は不足の理由

人材が「不足である」と回答した1者は、「1. 仕事量の増加(減少)」を理由とした。

図表9. 人材過不足の理由



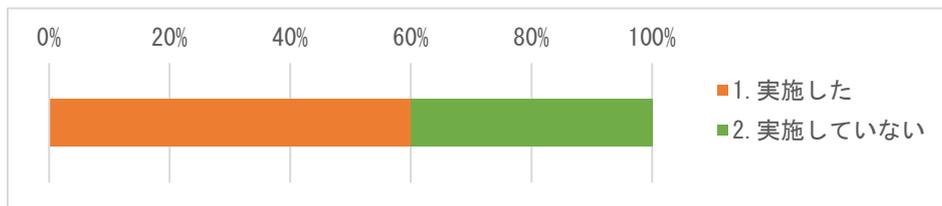
5. 設備投資の実施状況

(1) 今期の設備投資

2022年上半期に設備投資を「実施した」と回答したのは3者、「実施していない」と回答したのは2者であった。

図表10. 今期の設備投資実施状況

農業者数			構成比		全国 「実施した」
1.実施した	2.実施していない	合計	1.実施した	2.実施していない	
3	2	5	60.0	40.0	—



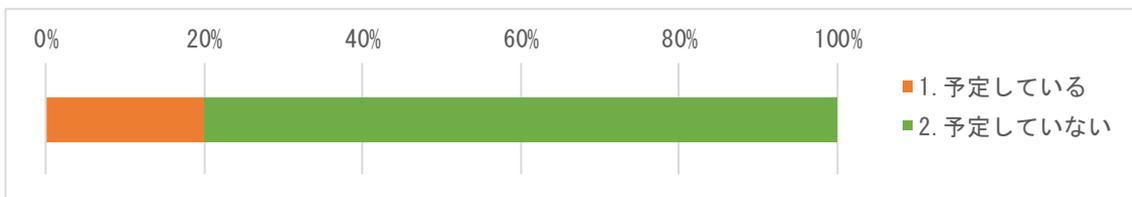
(2) 今期の設備投資予定

2022年の設備投資を「予定している」と回答したのは1者、残り4者は「予定していない」と回答した。

全国の調査で「予定している」と回答した者は51.9%であった。市川町の方が、全国よりも設備投資に対して消極的である。

図表11. 今期の設備投資の予定

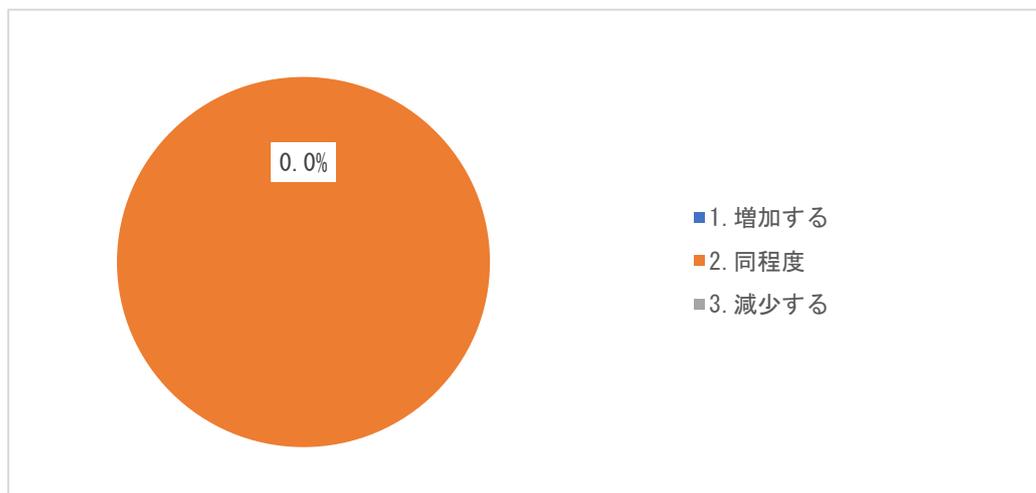
農業者数			構成比		全国 「予定している」
1.予定している	2.予定していない	合計	1.予定している	2.予定していない	
1	4	5	20.0	80.0	51.9



(3) 前年と比べた今年の設備投資額

2022年に設備投資を予定している事業所は、前年と比べて設備投資額は「同程度」と回答した。

図表1 2. 前年と比べた今期の設備投資額

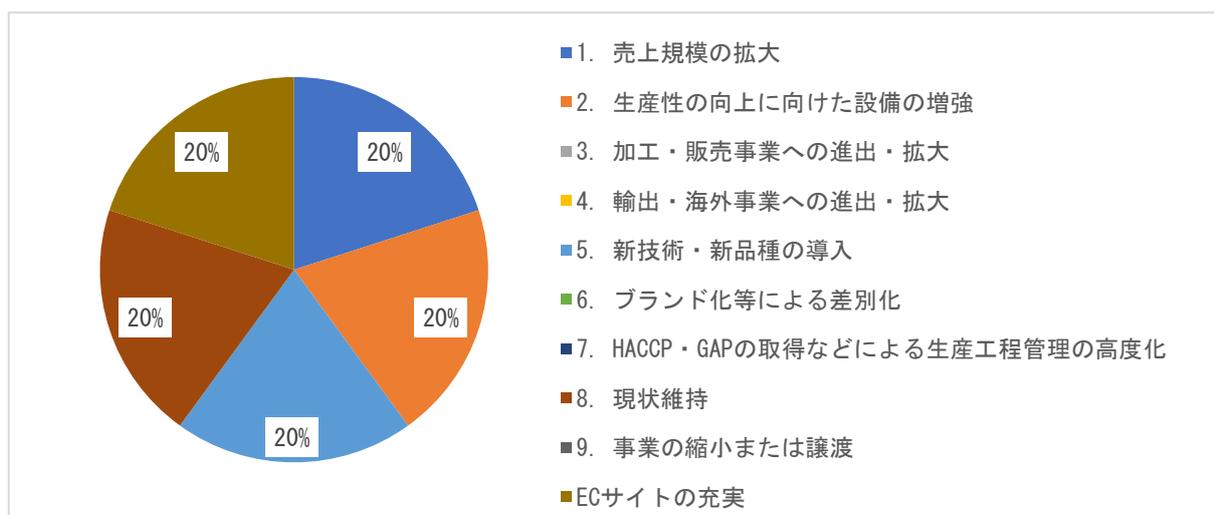


6. 今後の経営方針

(1) 重視する経営方針

今後の経営方針については、事業者ごとに異なった。「売上規模の拡大」「生産性の向上に向けた設備の増強」「新技術・新品種の導入」「ECサイトの充実」がそれぞれ1者ずつあった。「現状維持」と回答したのは1者だった。

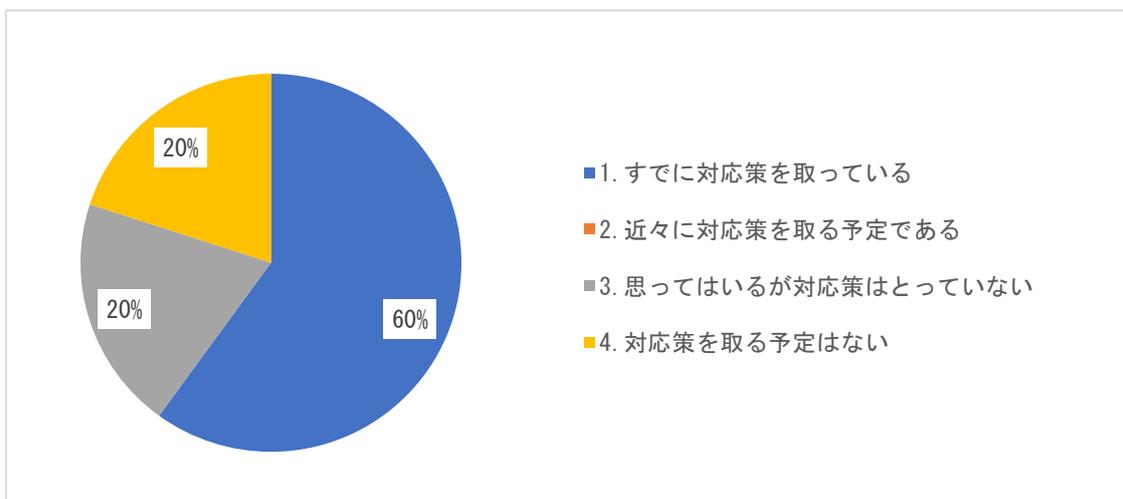
図表 1 3. 今後の経営方針



(2) 経営方針に対する取り組み状況

(1) に挙げた経営方針に対する取り組みを「すでに行っている」事業者が3者あった。未対応の事業者も含め、「現状維持」以外を選択した事業者は、総じて経営方針実現に向けて前向きな意思を持っている。

図表 1 4. 経営方針に対する取り組み状況

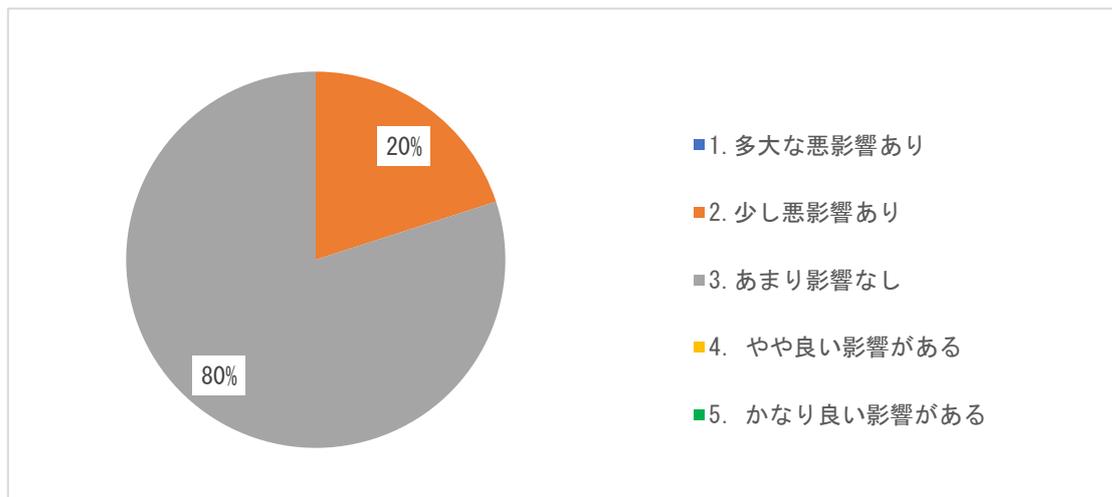


7. 新型コロナウイルスによる影響

(1) 今期売上高への影響

「あまり影響なし」が4者、「少し悪影響あり」が1者だった。前回調査では、何らかの悪影響を感じている事業者が4者(80%)あった。新型コロナウイルスの影響は少なくなっている。

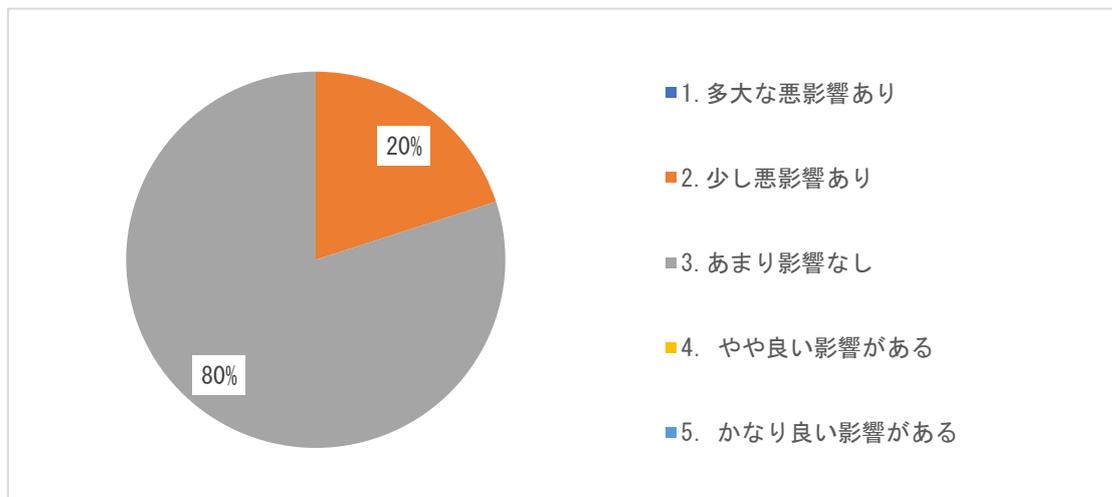
図表15. 新型コロナの売上高への影響



(2) 今期の採算（経常利益）への影響

「あまり影響なし」が4者、「少し悪影響あり」が1者だった。前回調査では、全ての事業者が何らかの悪影響を感じていた。新型コロナウイルスの採算に与える影響は少なくなっている。

図表16. 新型コロナの採算（経常利益への影響）

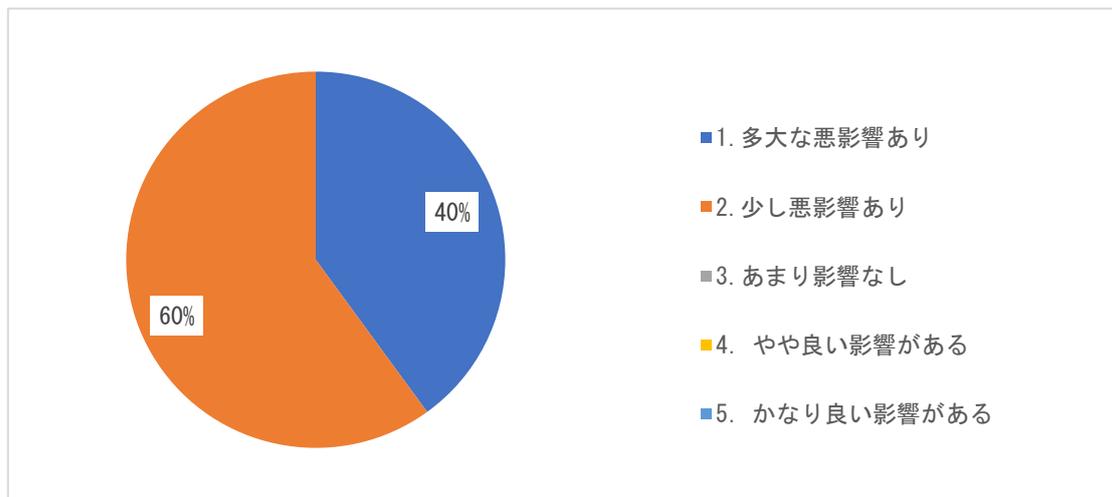


8. 原油高・原材料高による影響（今回調査から追加）

（1）今期売上高への影響

「多大な悪影響あり」が2者、「少し悪影響あり」が3者あった。原油高・原材料高について全ての事業者が悪影響を感じている。

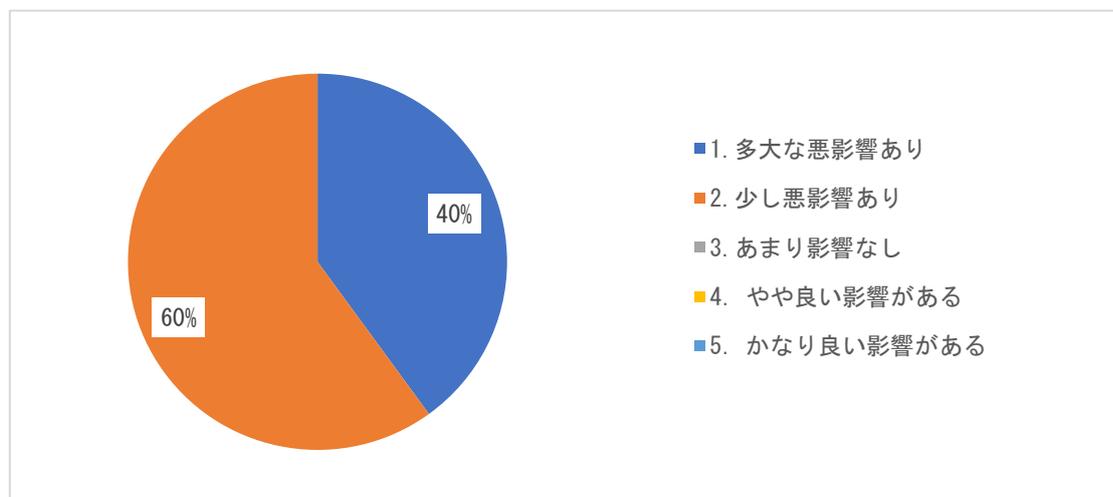
図表17. 原油高・原材料高の売上高への影響



（2）今期の採算（経常利益）への影響

「多大な悪影響あり」が2者、「少し悪影響あり」が3者あった。原油高・原材料高について採算の面でも、全ての事業者が悪影響を感じている。

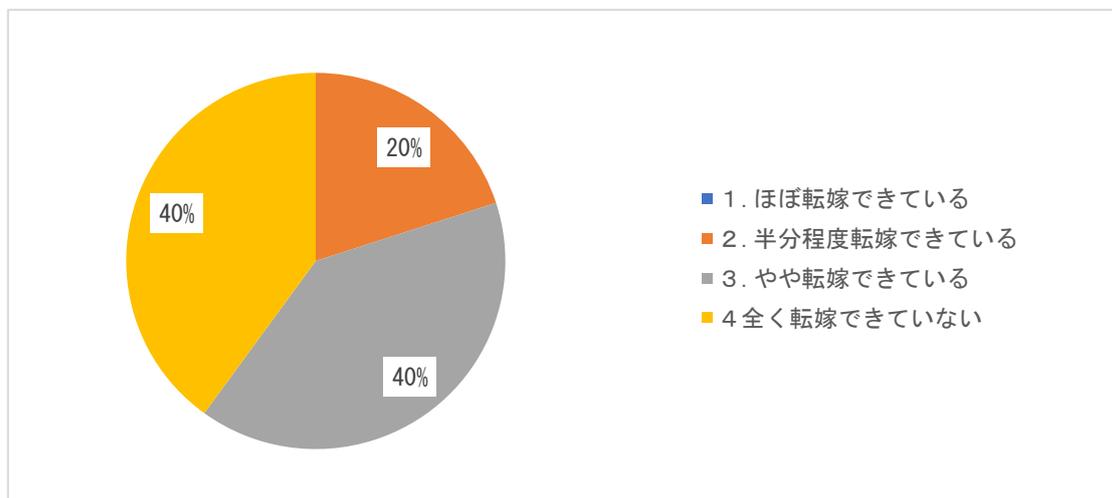
図表18. 原油高・原材料高の採算（経常利益）への影響



(3) 販売価格に転嫁できているか

「半分程度転嫁できている」が1者、「やや転嫁できている」「全く転嫁できていない」がそれぞれ2者ずつあった。6割程度の事業者は、値上げを価格に転嫁できている。しかし、対応できていない事業者も4割程度、存在している。

図表19. 原油高・原材料高を価格に転嫁できているか



(4) 事業への影響 (自由記述)

燃料代、肥料代が高騰しているが、米の販売金額は変わらないので利益が減少する
燃料費、肥料費に大きく影響している
生産コストの上昇
燃料費、肥料代が増加している
燃料代の上昇

9. その他 (自由記述)

その他、地域の景況についてや、商工会へのご意見ご要望等、ご自由にお書きください。

今回調査では、意見や要望は無かった。